

『諸厄利亞興学小笈』『諸厄利亞語林大成』 の発音表記について (その1)

神 澤 芳 賢

(1995年1月20日受理)

はじめに

江戸時代、日本は鎖国していて、唯一海外に開かれた窓は長崎出島であったが、そこでオランダ人と日本人の通訳をしていたのが、オランダ通詞であった。そのオランダ通詞が江戸時代末期になり、英語の学習を命ぜられた。その成果が、英語の入門書ともいえるべき『諸厄利亞興学小笈』と英和対訳辞書の『諸厄利亞語林大成』である。本稿では、両書に記された「音釈」、つまり発音表記といったものを調査する。そこで、語の綴りに対して、どういう表記がなされているかを考えていく。近年、フォニックスという綴り字と発音の間の規則性を考える学問が発達してきているので、その考え方を応用する。竹林滋『英語のフォニックス』(ジャパン タイムズ 1988²)で決められているルールに従って、両書の中の語の綴りと発音表記の関係を見してみる。調査にあたっては、日本英学史料刊行会編 影印本『諸厄利亞興学小笈』『諸厄利亞語林大成 草稿』(大修館書店 1982)を使用した。本稿作成にあたり、次のように書き改めた。

ア 英語綴り字で、大文字・小文字は、現行の用字法に従った。また〈ú〉は〈u〉で、〈ij〉は〈y〉で書き表した。

イ 「音釈」の部分は、原本では縦書きであるが、横書きに書き改めた。そのため附字(左肩に文字を小さく添えて示すような文字)や合字(右下に小さく文字を添えて示すような文字)は、現行の用字法に従った。

1. 子 音 字

1.1 b [b]

bag バッグ big ビグ book ブック best ベスト
bolt ボルト bud ビュット black ブレック herb ヘルブ
black more フレック モール bay-tree ヘイ ティリー
to bow ト ホウ butter ヒュットル bid ヒッド
to rub ト リュップ

母音が後続する場合は、その母音に従って、「バ、ビ、ブ、ベ、ボ、ビュ」となる。子音が後続する場合や、語末の場合は「ブ」である。このように多くがバ行の仮名で表されているが、ハ行の仮名や語末において「ブ」で表されているものもある。

1.2 d [d]

daughter ダウトル dish ディス dust デュスト
 day デイ do ド a draught エ グラート dream デイリーム
 drop ドロップ drum デュリウム to draw ト デレウ
 dame ターメ dignity ティグニティ damage テメージ
 does 又 doth ドース draper テレプル dwarf ドウエルフ
 gild ギールド sad セット

母音が後続する場合は、直後が子音の場合も含めて、「ダ、デイ、デュ、デ、ド」が多く、「タ、ティ、テ、ト」で表記されることもある。語末では「ド、ト」で、「ト」の方が多い。

1.3 f [f]

five ハイフ field ヒールト foot フート
 face ヘース for ホル full ヒュル flower フロウル
 flute ヒュリュット roof ルーフ

母音の前では、その母音により「ハ、ヒ、フ、ヘ、ホ、ヒュ」であり、子音の前や語末では、原則として「フ」と表記されている。

1.4 h [h]

half ハフ he ヒ hook フーク heaven ヘーヘン
 how ホウ hunger ヒュンゲル happy ペッピイ

母音の前では、その母音により「ハ、ヒ、フ、ヘ、ホ、ヒュ」と表記されている。〈h〉は子音の前及び語末では黙字となる。特異な例として、〈h〉が発音されるべきなのに発音されない表記や、反対に発音されるべきでないのに発音される表記になっているものがある。

home ヲーム honour ホノル

1.5 j [dʒ]

jaws ジャウス to jeer ト ジール just ジュスト
 jealousy ゼローシー jacket ジェケット jost ジョスト
 Japan ゼャッペン jett チェット January ヤニューウエリ
 jaundice ヨンジー jvy エイヒイ

母音の前では「ジャ、ジ、ジュ、ゼ、ジェ、ジョ」と表記されるものが多い。そのほかに「チェ、ヤ、ヨ」も見られる。jvy は現在の綴り方では ivy である。

1.6 k [k]

kid キット kettle ケットル book ブック flake フレッキ

語頭では、後続母音は [e] [i] に限られ、「ケ」「キ」と表記されている。語末では、「キ」

と「ク」の場合がある。

1.7 l [l]

lad ラット lip リップ loop ループ lace レース
long ロンク luck リュック gold ゴールト hill ヒル

母音の前では、その母音により「ラ、リ、ル、レ、ロ、リュ」と表記されている。子音の前や語末では、「ル」と表記されている。

1.8 m [m]

malice マリス meat ミート moon ムーン male メール
moist モイスト mute ミュート temple テンプル
storm ストルム chamber チャンブル

母音の前では、その母音により「マ、ミ、ム、メ、モ、ミュ」と表記され、子音の前や語末では「ム」と表記されている。ただし、[b]の前では「ン」になる。

1.9 n [n]

narrow ナルロウ needle ニードル noon ヌーン name 子ーム
no ノー nut ニュット brink ブリンク

母音の前では、その母音に応じて「ナ、ニ、ヌ、子、ノ、ニュ」で表記され、子音の前や語末では「ン」と表記されている。

1.10 p [p]

palace パレス people ピープル pool プール
pen ペン point ポイント pulse ピュルス
pack of cards ハック ヲフ カルツ pity ヒティ
pledge フレッジ peradventure ヘルアトヘンテュール
pol money ホル モ子イ to pull ト ヒュール
place プレイス top トップ

母音の前では、その母音により「パ、ピ、プ、ペ、ポ、ピュ」と表記されている場合が多いが、「ハ、ヒ、フ、ヘ、ホ、ヒュ」の表記もある。子音の前や語末では「プ」である。

1.11 r [r] (母音字の前)

rabbet ラベット reel リール room ルーム
race レース rock ロック rust リュスト

後続母音により「ラ、リ、ル、レ、ロ、リュ」で表記されている。

1.12 s [s]

sap サップ sea シー soon スーン saint セイント
 song ソング sun シュン seeing ジーイング
 seige ゼージュ slow スロー has ハス

母音の前では、その母音により「サ、シ、ス、セ、ソ、シュ」で表記されているが、語頭において「ジ、ゼ」の表記もある。子音の前や語末では「ス」と表記されている。なお、複数等を表す接尾辞に関しては後述する。

1.13 t [t]

talent タレント teeth ティース tube テュップ
 table テーブル top トップ tool トール tree ティリー
 to translate ト タランスレート trade テレード
 trunk トロンク twice トゥイス meet ミート

母音の前では、その母音により「タ、ティ、テュ、テ、ト、ト°」と表記されている。「ト°」は[u:]が後続する場合に多く使われているので、現代表記での「トゥ」を意図しているのではないかと思われる。子音が後続する場合は、「ティ、テ、ト、ト°」で、語末では「ト」と表記されている。

1.14 v [v]

to be vacant ト ビ ハカント village ヒレージ vain ヘイン
 silver シルフル voice ホイス to view ト ウィーウ
 very ウェリ river レウル wave ウェーフ

母音の前では、「ハ、ヒ、フ、ヘ、ホ」と「ウ、ウィ、ウェ」の2系列の表記がある。語末(ve)では、「フ」と表記されている。

1.15 w [w] (母音字の前)

to want ト ワント water ウァトル will ウィル
 wood ウート west エスト web ウェブ wolf ウォルフ

後続母音により、「ワ、ウァ、ウィ、ウ、エ、ウェ、ウョ」と表記されている。

1.16 x [ks] (母音字の後)

ax アックス six セキス sexton セキトン box ボス

「クス」と「キス」の2つが多いが、[s]や[k]の音が脱落しているものがある。

1.17 y [j] (母音字の前)

yea ヤー to yeeld ト イールト you ユー
year エール yonder ヨンドル

後続母音により「ヤ, イ, ユ, エ, ヨ」で表記されている。

1.18 z [z]

zealous セーロウス zone ソーン zeal ゼール
freeze フリース

母音の前では、ほとんど「セ」か「ソ」で表記されているが、「ゼ」が1例ある。語末では、「ス」で表記されている。

2. 二重または三重子音字で1つの音を表すもの

2.1 ch [tʃ]

chalice チャリス charger チャルゼル cheek チーキ
church チュルツ chest チェスト chalk チョーク
chaff ツァフ to choose ト ツース choice ツョイス
cheap シープ chapter セプトル coach コーツ
chopping knife ショピンキ 子イフ which ウィッチ
march メルス

母音の前では、その母音により「チャ, チャ, チ, チュ, チュ, チョ」と表記される事が多いが、「ツァ, ツ, ツョ」や「シ, セ, ショ」の表記も見られる。語末では、「ツ」の表記が多く、「チ, ス」も見られる。

2.2 ck [k] (母音字の後)

neck ネッキ back ベック chicken チッケン

語末では、「キ」または「ク」と表記されている。語中で後に〈e〉がある場合は「ケ」となっているようである。

2.3 dg [dʒ] (母音字の後)

bridge ブリッジ to lodge ト ローヂィ edge エッゼ
knowledge ノレッチュ lodging ローヂン judgment ジュツメント

「ジ, ギ, ジィ, ゼ」と表記されるが、「チュ, ツ」も見られる。

2.4 ng [ŋ] (母音字の後)

ring リン to ring ト リング dialing ダイリング

building ビルディンキ seeing シーインク
single センギル single life シングル レイフ

語末では、「ン、ンギ、ング」と表記されるものが多いが、「ンキ、ンク」と言ったものもある。語中では、「ンギ、ング」である。

2.5 ph [f]

physick ヒーシッキ phesant ヘサント phrases プレーセス
triumph ティリウムフ

語数は少ないが、母音の前では「ヒ、ヘ、プ」の表記であり、語末では「フ」で表記されている。

2.6 qu [kw] (母音字の前)

quarter クワルトル queen クウィーン to quake ト クウェーク
quotidian クウォティディエン

後続母音により「クワ、クウィ、クウェ、クウォ」と表記されている。

2.7 sh [ʃ]

shallow シャロウ sheep シープ shoulder シュルドル
shoe スウ shell セル to shout ト ソウト
short ショルト shank チェンキ she スシー
shame セシーム shrimp シリンプ bush ビュス

母音の前では、その母音により「シャ、シ、シュ、ス、セ、ソ、ショ」で表記されているが、「チェ」という表記もある。なお「スシー」は「ス」が「シ」の右斜め上に書かれており、「シ」が主音でその前に「ス」の音が添えられると思われる。「セシーム」は「シ」と「セ」が左右に並列に書かれており、両方の中間音ではないかと思われる。子音の前では「シ」、語末では「ス」で表記されている。

2.8 tch [tʃ] (母音字の後)

pitch ピッツ watch ワッチ to watch ト ウェッチュ
to snatch ト ス子ス watching ワッチン
dutchess デュトチェス

語末では、「チ、ツ」で表記されているものが多いが、「チュ」や「ス」もある。語中では、後続母音により「チ、チェ」で表記されている。

2.9 th [θ,ð]

thimble チムブル this ティス thumb テュンブ
theft テフト to thank ト チェンキ that ダット
within ウィヂン (『小笈』), ウィディン (『大成』)
the デ thou ドウ three ティリー
to threaten ト テレーテン to throw ト トロウ
thrush テュリュス thread デレード through ドロー
thousand ドウセンツ path パス seventh セウエンツ

母音の前では、その母音により「チ、ティ、テュ、テ、チェ」という清音と、「ダ、ディ、ヂ、ド」という濁音で表記されている。これは必ずしも原音による区別ではない。また、「ド」もある。子音の前では、発音は [θ] であるが「ティ、テ、ト、テュ、デ、ド」という表記である。語末でも発音は [θ] であるが、「ス、ツ」である。

2.10.1 wh [hw] (語頭)

white ワイト wheat ウィート which ウィッチ
whale ウェーレ

後続母音により、「ワ、ウィ、ウェ」で表記されている。

2.10.2 wh [h] (語頭)

whose ウース whole ホール

「ウ」または「ホ」で表記されている。

3. 黙 字

3.1 語頭の kn- の k

knife 子イフ to knock ト ノック knave ケ子ーフ
knee キニー

〈k〉に対する発音表記のないもののほかに、カ行の仮名での表記のものもある。

3.2 語頭の gn- の g

to gnash ト 子ス to gnaw ト 子ウ

〈g〉に対する発音表記はない。

3.3 語頭の wr- の w

wrong ウロング to write ト レイト

多くのものが「ウ」の表記になっていて、〈w〉に対する発音表記のないものは少ない。

3.4 語末の -mb の b

womb ウォムブ bomb ボンブ

「ブ」で表記されている。

3.5 語末の -mn の n

autumn アウテュム to condemn ト コンテムン

〈n〉に対して発音表記のないものと、「ン」の表記のものがある。

3.6 語末の -gn の g

sign セイン sovereign ソーベレイン

〈g〉に対する発音表記はない。

3.7 語末の -bt の b

to doubt ト ドート debt デプト

〈b〉に対する発音表記がないものが3語あり、「ブ」の表記のものが1語ある。

3.8 語末の -ght の gh

night 子イト eight エイト

〈gh〉に対する発音表記はない。

4. 母 音 字

4.1.1 a [æ]

ashes アシス bag バッグ act エクト man メン

ア列の仮名で表記される場合と、エ列の仮名で表記される場合がある。

4.1.2. a [ei]

age エーチェ date デート ake エケ
labour レボウル to lace ト リーセ

エ列の仮名+長音符号で表記される場合と、エ列の仮名のみの場合がある。また、イ列の

仮名+長音符号もある。

4.2.1 e [e]

egg エグ bed ベッド

エ列の仮名で表記されている。

4.2.2 e [i:]

me ミ even エヘン she スシー evening エーヘニング

イ列, エ列の仮名+長音符号で表記されているものは少なく, イ列またはエ列の仮名だけで表記されている。

4.3.1 i [i]

if イフ big ビグ six セキス ill イール

イ列またはエ列の仮名で表記されている。「イー」も見られる。

4.3.2 i [ai]

ice エイス fine ヘイン I アイ wife ワイフ
idle エドル idol イドル

エ列, ア列の仮名+「イ」で表記されているものが多い。ほかに, 「イ」, 「エ」の表記も見られる。

4.4.1 o [ɔ]

on ラン hot ホット

オ列の仮名で表記されている。

4.4.2 o [ou]

old ラールト rose ロース over ヲフル

オ列の仮名+長音符号で表記されているが, オ列の仮名のみの場合もある。

4.5.1 u [ʌ]

upon ヲブン us ユス cut クット cup キュップ

「ヲ」, ウ列の仮名で表記されている。

4.5.2 u [ju:]

mute ミュート use ユス student ステュデント

「ユ」またはウ列拗音に対応する仮名で表記されているものが多い。

5. 単語が「母音字+子音字」で終わっている場合

hat ハット pen ペン

母音字は短母音に対応する仮名で表記されている。

6. 単語が「母音字+子音字+e」で終わっている場合

made メーデ pipe ペイプ hope ホープ
rule リュール tune テュ子 to tune ト テュン

母音字は長母音または二重母音に対応する仮名で表記されているものが多いが、短母音に対応する仮名の表記もある。

7. 二重母音字

7.1.1 ea [i:]

meat ミート leaf レーフ

7.1.2 ee [i:]

green �リーン sleeve スレーフ greedy ギリイディ

7.1.3 ie [i:]

field ヒールト siege セージュ

上の3つはイ列、エ列の仮名+長音符号で多く表記されている。

7.2.1 ai [ei]

sail セイル pain ペイン

7.2.2 ay [ei]

day デイ pay ペイ

7.2.3. ei [ei]

to reign ト レイン neither 子アイドル

7.2.4 ey [ei]

they デイ to obey ト ヲベイ

上記4つは、エ列の仮名+「イ」で表記されている。

7.3.1 oi [oi]

oil ライル noise ノイス loins ローンズ

7.3.2 oy [oi]

boy ボイ to employ エムプロイ

上の2つは、原則オ列の仮名+「イ」で表記されている。

7.4.1 au [ɔ:]

autumn アウテュム laurel ローレル maul モル
nauseating ナーシティング

ア列の仮名+「ウ」、長音符号またはオ列の仮名 (+長音符号) で表記されている。

7.4.2 aw [ɔ:]

aw アウ law ラー

ア列の仮名+「ウ」、ア列の仮名+長音符号で表記されている。

7.5.1 eu [ju:]

feud ヘウト

7.5.2 ew [ju:]

few ヘウ new 子ウ to view ト ウィーウ

上の2つは多くが、エ列の仮名+「ウ」で表記されている。

7.6.1 ou [au]

loud ロウト to doubt ト ドート doubtful ドヲトフル
countenance コント子ンス

オ列の仮名+「ウ」、 「ヲ」、 長音符号またはオ列の仮名で表記されている。

7.6.2 ow [au]

now ノウ flower フロウル

オ列の仮名+「ウ」で表記されている。

7.7 oa [ou]

boat ボート coat コート coast コース

オ列の仮名+長音符号で表記されている。

7.8 oo [u:]

cool クール room ルーム moon ムーン

ウ列の仮名+長音符号で表記されている。

8. ch, j, l, r, s の後の ew, u, ue [u:]

8.1 ew

to chew ト チェウ Jew ゼウ blew ブレウ
to sew ト セウ

エ列の仮名+「ウ」で表記されている。

8.2 u

June ジュン flute ヒュリユット rule リュール
super シュプル

ウ列拗音に対応する仮名で表記されている。

8.3 ue

blue ブリュー to value ト ヘリュ true トロー
truely トロリ

ウ列拗音に対応する仮名(+長音符号)あるいはオ列の仮名(+長音符号)で表記されている。

9. c, g

9.1.1 c [k] (a, o, u, 子音字の前)

calm カーム clean キリーン cut クット cat ケット
to cry ト ケレイ cock コック cubit キュビット

後続母音により「カ, キ, ク, ケ, コ, キュ」と表記されている。

9.1.2 c [s] (e, i の前)

center セントル citron シトロソ to cease ト ジース

後続母音により、「シ、セ」で表記されるのが原則である。

9.2.1 g [g] (a, o, u, 子音字の前, 語末)

gallery ガルレイ good グート game ゲーム
to go ト ゴー gulf ギュルフ green ギリーン
glad ゲレッド to grow ト ゴロウ bag バッグ
pig ピク twig トウイキ

母音の前では、その母音により「ガ、ギ、グ、ゲ、ゴ、ギョ」で表記されている。語末では「グ、キ、ク」である。

9.2.2 g [dʒ] (e, i の前)

gentle ゼントル ginger ギンゲル gender ゲンドル

「ゼ」か「ギ、ゲ」の表記がなされている。

10. 「母音字+r」（語末または子音が続くとき）

10.1 ar [ɑ:]

card カルト far ヘル

ア列の仮名+「ル」または、エ列の仮名+「ル」で表記されている。

10.2 er [ə:]

her ヘル master メストル silver シルフル

ウ列の仮名+「ル」、エ列の仮名+「ル」、オ列の仮名+「ル」で表記されている。

10.3 ir [ɪ:]

sir シル first ヒルスト fir ヘイル

イ列の仮名+「ル」の表記が多いが、エ列の仮名+「イル」もある。

10.4 ur [ɜ:]

fur ヒュル to turn ト テュルソ to furnish ト ホルニス

オ列の仮名+「ル」や、ウ列拗音に対応する仮名+「ル」で表記されている。

10.5 or [ɔ:]

nor ノル corn コルン

オ列の仮名+「ル」で表記されている。

11. 「母音字+r+e」(語末)

11.1 -are [ɛə]

care ケル rare レール

エ列の仮名+「ル」かエ列の仮名+長音符号+「ル」で表記されている。

11.2 -ere [iə]

here ヘール sincere シンセール

エ列の仮名+長音符号+「ル」で表記されている。

11.3 -ire [aiə]

fire ハイル to hire ト ヘイル

ア列の仮名+「イル」かエ列の仮名+「イル」で表記されている。

11.4 -ure [juə]

cure キウル to cure ト キュル pure ピュール

イ列の仮名+「ウル」, ウ列拗音に対応する仮名+「ル」, ウ列拗音に対応する仮名+長音符号+「ル」で表記されている。

12. 「二重母音字+r」

12.1 ear [iə]

ear エール near 子ール

12.2 eer [iə]

deer デール beer ベール

12.3 air [ɛə]

air エール hair ヘール

上の3つは、エ列の仮名+長音符号+「ル」で表記されている。

12.4 oar [ɔ:]

board ボールト oar ヲール

オ列の仮名+長音符号+「ル」で表記されている。

12.5 oor [uə]

poor プール

ウ列の仮名+長音符号+「ル」で表記されている。

12.6 our [auə]

flour フロウル our ヲウル

12.7 ower [auə]

power ポウル flower フロウル

上の2つは、オ列の仮名+「ウル」で表記されている。

13. w, wh, qu の後の母音字

13.1 -a [ɔ]

watch ワッチ to wash ト ウェス what ワット
quadrant クワダラント

「ワ」または「ウェ」で表記されている。

13.2 -ar [ɔ:]

war ワル warm ウェルム wharf ウェルフ
quart クワルト

「ワル」, 「ウェル」で表記されている。

13.3 -o [ʌ]

won ウォン wonder ウォンドル

「ウォ」で表記されている。

13.4 -or [ə:]

work ウォルク world ウォルルト

「ウョル」で表記されている。

14. 重子音字

bell ベル kiss キス dollar ドラル
belly ベルリィ summer シュムメル

子音字と1つと同じに発音される場合と、それぞれが発音される場合がある。

15. 語中の重子音字前の強勢母音

latter レッテル better ベットル dinner ディン子ル
hopper ホップル summer シュムメル

短音としての発音表記になっている。

16. 名詞の複数形及び動詞の三人称単数現在形の -s

16.1 -es [iz]

horses ホルセス cherries チェルリース pleases プレース

16.2 -s [s]

books ブックス fruits フリーツ packs ペック

16.3 -s [z]

sees シース hands ヘンツ melons メロン

発音の如何に関わらず、〈s〉に対して「ス」(〈ts〉〈ds〉の場合は「ツ」)で表記されるものと、発音されないものがある。

17. 動詞の過去及び過去分詞形の -ed

17.1 t, d で終わる動詞のあとの -ed [id]

rested レステット commanded コマンテット

「ット」で表記されている。

17.2 上記以外の -ed [t], [d]

promised プロミスト danced ダンセット

pleased プレースト arrived アルレイフ

「ト」で表記されるものが多いが、発音されないものもある。

18. 弱母音を示す字 (イタリック体で示す)

18.1.1 a [ə]

about アボウト gentleman ゼントルメン

ア列の仮名またはエ列の仮名で表記されている。

18.1.2 e [ə]

element エレメント moment モムト

エ列の仮名またはウ列の仮名で表記されている。

18.1.3 i [ə]

April エープリル possible ポシブル

イ列の仮名で表記されている。

18.1.4 o [ə]

ommon コムモン to contain ト コンテイン

オ列の仮名で表記されている。

18.1.5 u [ə]

August アウグスト

ウ列の仮名で表記されている。

18.1.6 ou [ə]

dangerous ダンジルース populous ポピュロウス

ウ列の仮名+長音符号, オ列の仮名+「ウ」で表記されている。

18.2.1 i [i]

musick ミュシッキ

イ列の仮名で表記されている。

18.2.2 e [i]

roses ロース pretended プレテンテット horses ホルセス

16. 17. を参照のこと。

18.2.3 a [i]

message メセージュ village ヒレージ

エ列の仮名+長音符号で表記されている。

18.2.4 ai [i]

to bargain ト ベルゼン certain セルテン

エ列の仮名で表記されている。

18.3.1 y [i]

city シセティ happy ペッピイ

イ列の仮名で表記されている。

18.3.2 ie [i]

cherries チェルリース universities ユニヘルシティス

イ列の仮名(+長音符号)で表記されている。

18.3.3 ey [i]

money モニ honey ホ子イ

イ列の仮名, エ列の仮名+「イ」で表記されている。

18.4 u [ə]

merciful メルシヒュル careful ケールヒュル

18.5 u [ju]

populous ポピュロウス

上の2つは, ウ列拗音に対応する仮名で表記されている。

18.6.1 ar [ə]

calendar ケレンデル particular パルティキュレル

エ列の仮名+「ル」で表記されている。

18.6.2 er [ə]

robber ロップル printer プリンテル butter ヒュットル

ウ列, エ列, オ列の仮名+「ル」で表記されている。

18.6.3 or [ə]

taylor テイロル to forget トホルゴット

オ列の仮名+「ル」で表記されている。

18.6.4 ur [ə]

to murmur トモルムル Saturday サテュルデイ

ウ列の仮名+「ル」で表記されている。

18.6.5 yr [ə]

martyr マルティル

19. 弱母音が後続する場合

19.1.1 ti [ʃ]

ambition アムビション ambitious アムビシューズ
foundation ホンデーシン

19.1.2 ce [ʃ]

ocean ヲシン

19.1.3 ci [ʃ]

physicion ヒシシン

19.1.4 si [ʃ]

pension ペンション

19.1.5 si [ʃ]

occasion ヲッカーシン vision ヒション

上記5つは「シ, シュ, ショ」で表記されている。

19.2.1 ge [dʒ]

pigeon house ピージン 하우스 dungeon デュンゼロン

19.2.2 gi [dʒ]

region レジョン prodigious プロテキウス courageous コレージュス

上の2つは「ジ, ジュ, ジョ, ゼ」での表記がふつうで, 「キ」も見られる。

20. 弱い音節の子音字

20.1 su [ʒ]

usury ユジュリ casual ケシュアル

「ジュ, シュ」で表記されている。

20.2 tu [tʃ]

fortune ホルテュン natural 子テュレル

「テュ」で表記されている。

20.3 du [dʒ]

to educate ト エデュケート

「デュ」で表記されている。

20.4 ture [tʃə]

nature ナテュール picture ピキチュル

「テュール」, 「チュル」で表記されている。

(つづく)